

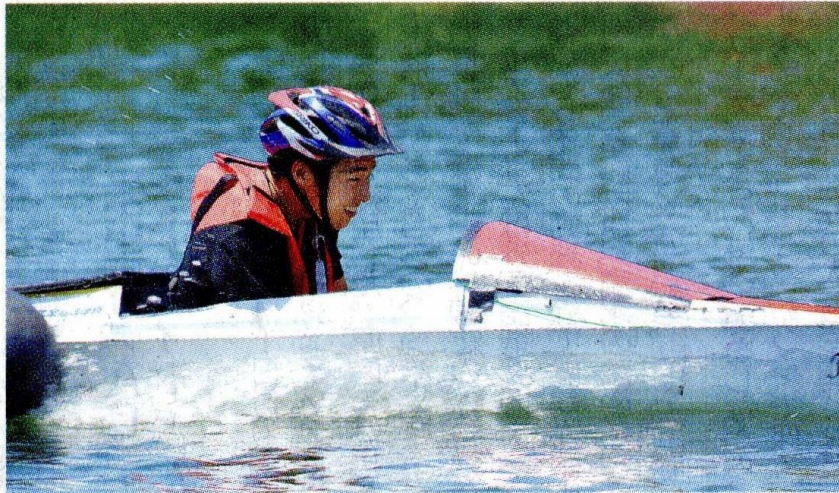


造船科・造船部

須崎工ソーラー艇V4狙う

【須崎】太陽光発電で走るソーラーボートの競技大会「柳川ソーラーボート大会」(福岡県柳川市)で、3年連続で優勝している須崎市の須崎工業高校造船部が、今年も6、7日に開かれる同大会に出場する。生徒たちは「目標は4連覇」と予行練習に精を出している。

6、7日 福岡で大会



4連覇を目指し、練習に励む造船部メンバー(須崎市の浦ノ内湾)

大会は柳川城のお堀がコースで、約3・1キロを3周する周回レースと、直線150メートルに浮かべたブイを縫って進むスラロームの2種目がある。一般の部、学生の部に分かれてタイムを競う。須崎工高は2011年に周回で初優勝。13年はスラロームで1、2位に輝き、14年、15年は2種目で1、2位を独占している。今年のメンバーは、造船科の2、3年生計12人で、昨年優勝した2艇で出場する。昨秋からは、種目ごとに設計したスクリューを製作したり、前方のかじの大きさを変えたりして準備してきた。

生徒たちは7月下旬から、須崎市の浦ノ内湾で、バッテリー交換などのピット作業やボートの操作などに汗を流している。部長の3年生、岡本正さん(18)は「みんなで協力すれば良い結果が出ると思います」と力強く話す。木下裕次郎顧問も「電気の消費をいかに抑えるかが勝負どころ。ペース配分がうまくいけば、記録更新も狙える」と教え子に期待していた。(山本 仁)

8月6, 7日 柳川ソーラーボート大会開催

目指せ大会4連覇！！